

# 衛星データを活用した 固定資産調査業務の省力化のご提案

---

2026/2/19

 株式会社オーイーシー



社 名 株式会社オーイーシー

代 表 者 代表取締役会長 森 秀文  
代表取締役社長 加藤 健

資 本 金 1億円

社 員 数 580名(2025年4月1日現在)

株 主 株式会社 アステム/株式会社 トキハ  
株式会社 大分放送/西日本電線株式会社  
大分合同新聞社/三和酒類株式会社  
株式会社 大分銀行/府内産業株式会社  
オーイーシー社員持株会

### すべての「地域」に寄り添う 共創デザインカンパニーへ

オーイーシーは、大分本社、東京本社に加えて、  
2支社、6事業所で展開しており、  
さらなる変革、さらなる共創、さらなる成長を企業使命と認識し、  
ウェルビーイングな社会の実現に挑戦し続けます。



#### 大分本社

大分県大分市東春日町17番57号 ソフトパーク内  
TEL:097-537-1212 / FAX:097-537-2694

#### OEC ビジカムオフィス

大分市萩原1丁目19番39号 大分銀行日岡支店2Fビジカム内

#### 西日本支社

京都市中京区蛸薬師通烏丸西入ル機井慶町227 第12長谷ビル7F  
TEL:075-213-4108 / FAX:075-213-4128

#### 香川事業所

香川県高松市天神前10-1 高松天神前ビル4F  
TEL:087-862-3666 / FAX:087-862-3667

#### 富山事業所

富山県富山市桜橋通り5-13 富山興銀ビル4F  
TEL:076-444-1051 / FAX:076-444-1052

#### 福井事業所

福井県福井市順化1丁目21-1 ニッセイ福井ビル4F  
TEL:0776-23-3080 / FAX:0776-23-3081

#### 東京本社

東京都中央区日本橋蛸薬町1丁目9-8 人形町PREX8F  
TEL:03-5847-7031 / FAX:03-3668-2671

#### 世田谷事業所

東京都世田谷区太子堂2-12-2 T-one世田谷ビル7F  
TEL:03-5779-3939 / FAX:03-5779-3960

#### 福岡支社

福岡県福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル5F  
TEL:092-687-5556 / FAX:092-687-5559

#### 博多ラボ

福岡県福岡市博多区上呉服町10-1 博多三井ビルディング4F  
TEL:092-402-3220 / FAX:092-263-1750

#### 佐賀事業所

佐賀県佐賀市松原1-4-4 アールビル3F  
TEL:0952-29-0650 / FAX:0952-29-0652

ホームページはこちら  
オーイーシー





**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



医療/教育/公共施設/環境 など様々な分野でのパッケージシステムを開発



AI関連のサービス  
(機械学習/深層学習)



IoT関連のサービス  
(Internet of Things)



02

オーイーシーの  
取り組み

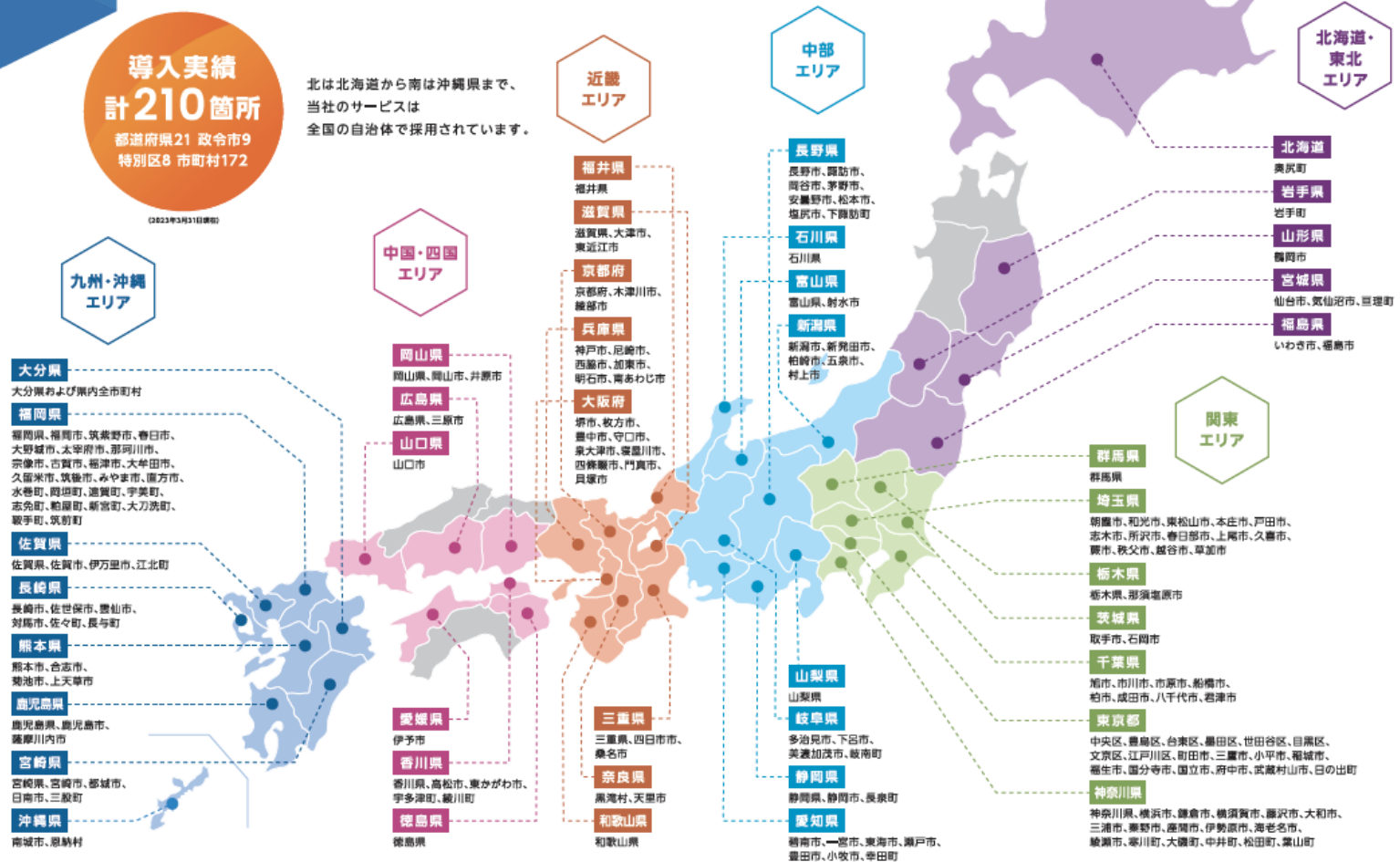
## 大分から全国へ広がるオーイーシーの サービス (全国自治体への導入実績)

Track record of introduction to municipalities nationwide

導入実績  
計210箇所  
都道府県21 政令市9  
特別区8 市町村172

2022年3月31日現在

北は北海道から南は沖縄県まで、  
当社のサービスは  
全国の自治体で採用されています。





## 九州・沖縄エリア

### 《大分県》

大分県および県内全市町村

### 《福岡県》

福岡県、福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市、宗像市、古賀市、福津市、大牟田市、久留米市、筑後市、みやま市、直方市、水巻町、岡垣町、遠賀町、宇美町、志免町、粕屋町、新宮町、大刀洗町、鞍手町、筑前町

### 《佐賀県》

佐賀県、佐賀市、伊万里市、江北町

### 《長崎県》

長崎県、長崎市、佐世保市、雲仙市、対馬市、佐々町、長与町

### 《熊本県》

熊本市、合志市、菊池市、上天草市

### 《鹿児島県》

鹿児島県、鹿児島市、薩摩川内市

### 《宮崎県》

宮崎県、宮崎市、都城市、日南市、三股町

### 《沖縄県》

南城市、恩納村

## 大分から全国へ広がるオーイーシーの サービス

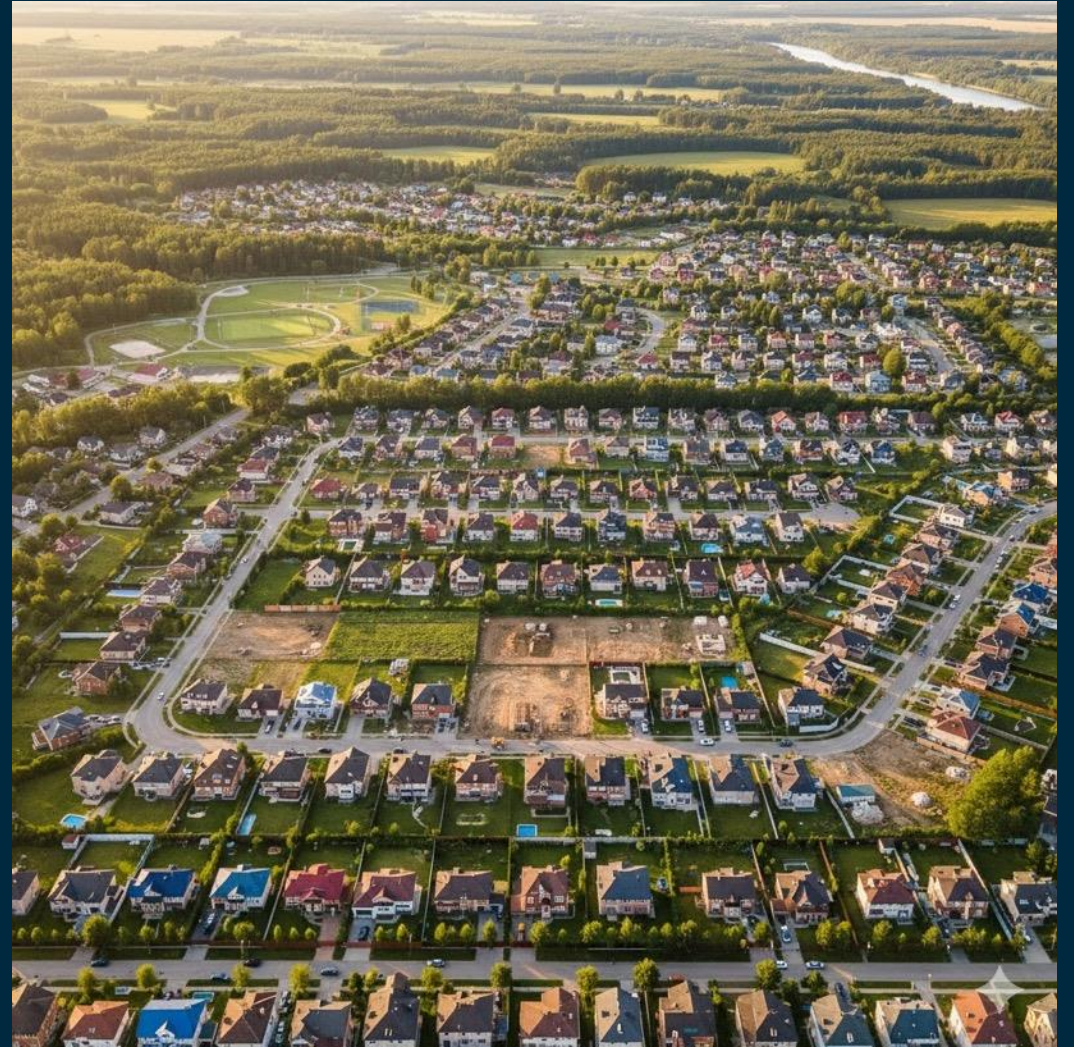
全国自治体への導入実績

Track record of introduction to municipalities nationwide



# 自治体様との実績多数

# 衛星データを活用した 固定資産調査業務の省力化





## 大分県 令和7年度宇宙ビジネス創出支援事業費補助金

### 衛星データを活用した固定資産調査業務の省力化に向けた実証

固定資産税において課税客体の変化を把握するための現地調査が職員の負荷の高い業務になっており、衛星データを活用した省力化について可能性検証を実施。

衛星データを用いて家屋の状態変化を検出し、その結果をもとに調査業務量の予測や現地調査の必要性（有無）の精度を確認。

#### 評価額調査業務の課題

書類の確認など  
事務作業



現地調査

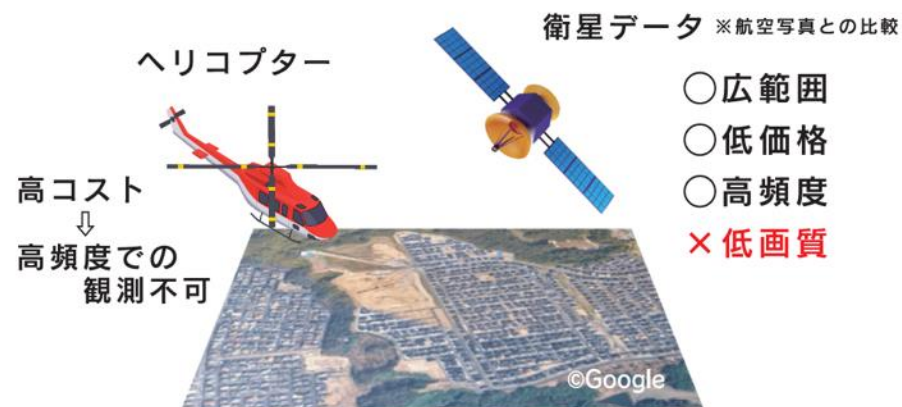


データ入力



家屋調査だけで数十名の担当者が対応することも

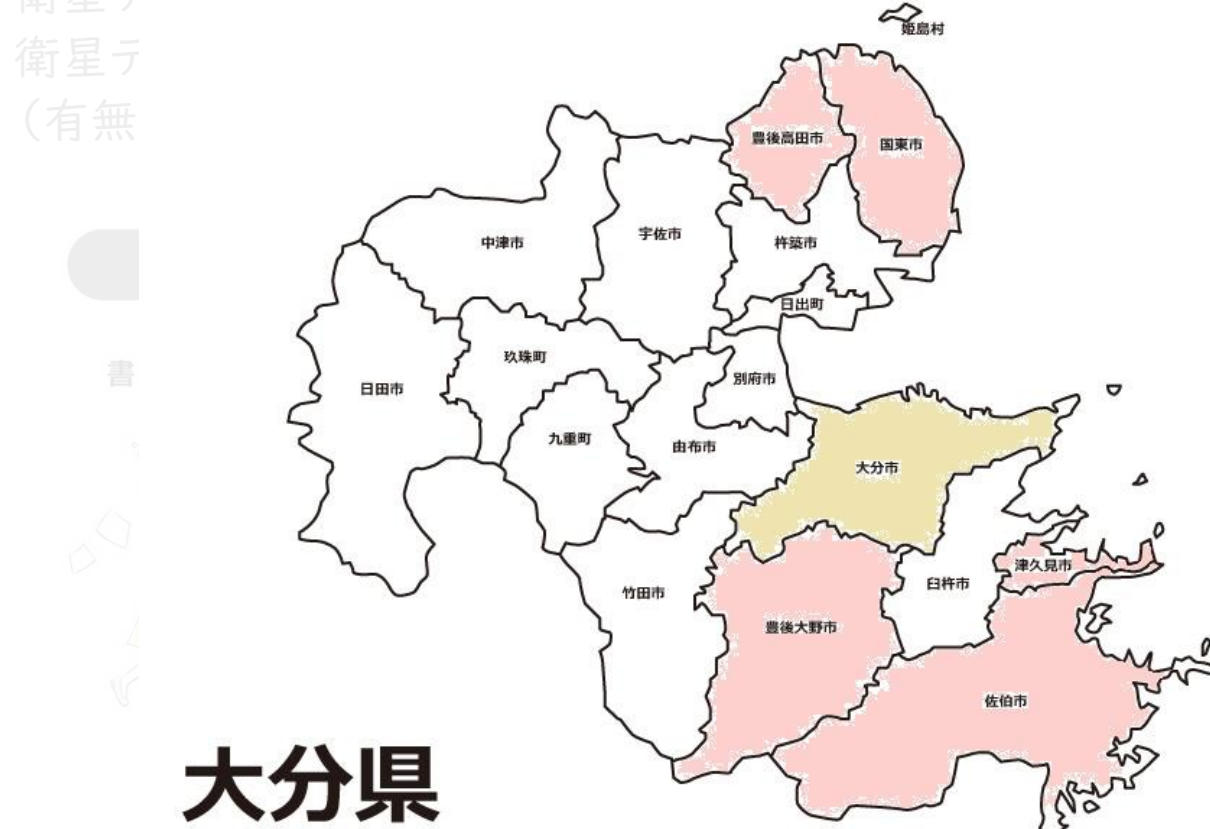
#### 衛星データ活用のメリット





2025年度大分県全庁的年度内（10月）に「衛星データ活用推進事業費補助金」  
衛星データを活用し、**県内ニーズ調査**を実施し、省力化に向けた実証

固定資産税評価額調査において、衛星データを活用し、**県内6市町村で調査を行い、温度差はあるが6市町村でニーズを確認**した。現地調査が職員の負荷の高い業務になっており、



調査業務量の予測や現地調査の必要性

## 単独市町村での解決が困難

空写真との比較

ヘリコプター  
スト  
度での観測不可

- 低価格
- 高頻度
- × 低画質

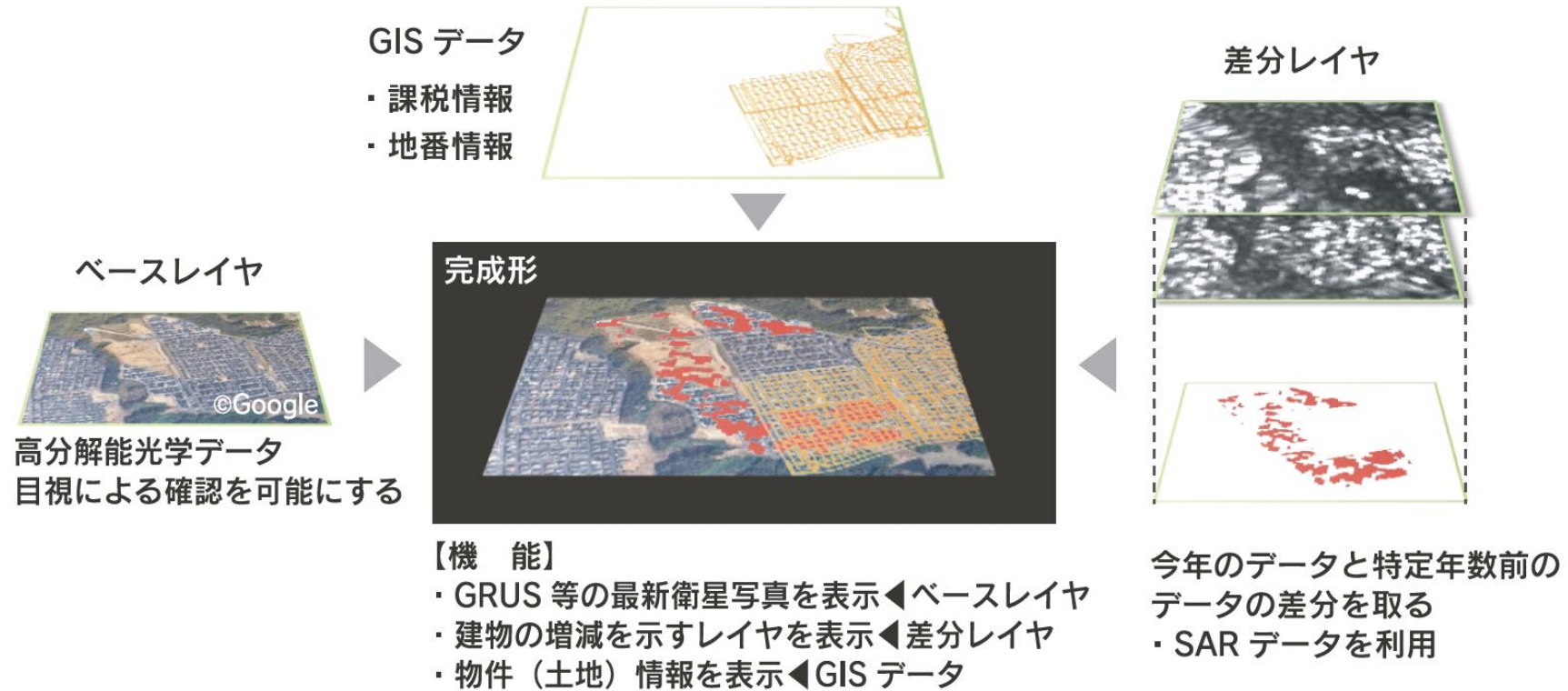
©Google



自治体職員の利用を想定したプラットフォームを開発中

協力 **SPACE SHIFT**  
**AXELSPACE**

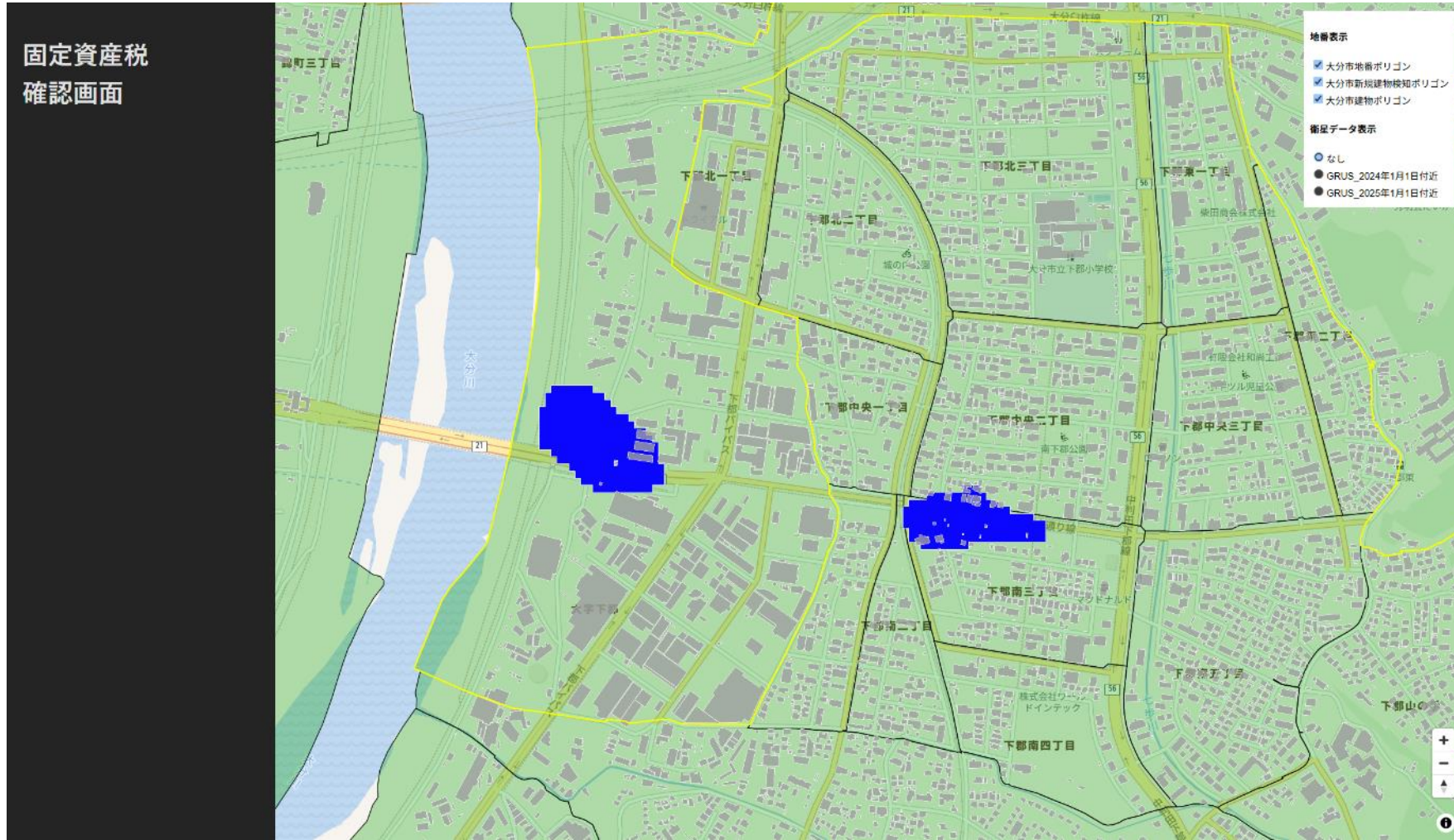
### プラットフォームのイメージ





自治体職員の利用を想定したプラットフォームを開発中

協力 **SPACE SHIFT**  
**AXELSPACE**



株式会社スペースシフトによる新規建物検知結果

2024年1月ごろ



2025年1月ごろ



株式会社スペースシフトによる新規建物検知結果



課題と今後の対応

大型建造物の検知レベル



調査業務に効果を発揮する  
衛星データの探索(分解能)

建物変化の確認



土地の変化の研究

見える化レベルのアプリケーション



省力化に繋がるUI/UXの実現



ロードマップ

フェーズ	概要	2025年	2026年	2027年	2028年
実証①	衛星データ活用の検証 ・建物検出 ・プロト開発 ・ニーズ調査	<p>→</p> <p>→</p> <p>県内ニーズ調査</p> <p>→</p> <p>建物検出&amp;プロト開発</p>			
実証②	業務省力化の検証 ・衛星データ探索 ・土地変化検出 ・アプリブラッシュアップ		<p>→</p> <p>→</p> <p>衛星探索&amp;土地変化&amp;アプリ改修</p> <p>→</p> <p>業務PoC</p>		
実装	業務活用				<p>→</p> <p>実業務での利用&amp;サービスアップ</p>

固定資産税 評価額調査業務の省力化と一緒に取り組む市町村を募集

大規模火災発生前(1年前)



大規模火災発生後

協力 AXELSPACE





事例02 経済産業省 令和4・5年度「衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援事業」

高性能衛星データを活用したスマート農業サービスの開発事業

大分県玖珠町は、経済活性化や定住人口増等の施策推進を企図し、おおいたスペースフューチャーセンターと包括連携協定を締結し、衛星データ活用等による活性化に着手。青森高品質米「青天の霹靂」とICTシステム青天ナビを参考に、衛星データと農業従事者の経験や現場データを掛け合わせ、米の高品質化と品質の安定化を目指した玖珠米のブランド化を行う。



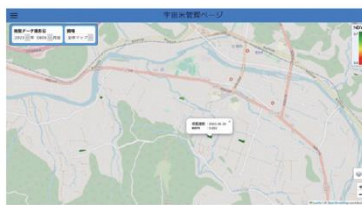
玖珠町の高品質なお米



衛星データ



宇宙米  
(ハイブランド化)



当社は、  
衛星データの分析とアプリを開発

事例03

SAR 衛星観測データを用いた土砂災害検出システムの実現可能性検証



複数の SAR 衛星観測データの差分を取り、土砂災害をリアルタイムで検出するプログラムの開発ならびにシステム化について実現可能性を検証した。

【本研究の必要性】

土砂災害後の人命救助は、時間との勝負となる。マシンスペックに依存しない高速画像処理技術を確認することで、広範囲での早期状況把握および対策方針の検討に貢献。

【SAR衛星観測データの処理イメージ】

2枚の SAR衛星観測データから画像差分を抽出し、土砂災害の発生箇所を検出。検出には、Pythonや Elixirといったプログラム言語を用いて高速処理を実現。



検証ポイント

- ・ 広範囲における早期発見 & 状況把握
- ・ SAR 衛星観測データの活用 (天候に強い) ※
- ・ リアルタイム処理 (高スペックマシンは不要)
- ・ 土砂災害 発生予測への発展

※検証は Sentinelのデータで行いますが、実装は QPS研究所の SARデータを想定。



# デザイン思考やエフェクチュエーションによる宇宙ビジネス創出ワークショップ

イノベーション活動に必須と言われるデザイン思考や近年話題のエフェクチュエーションの原則を用いて、  
新たな宇宙ビジネスを創出するワークショップを企画・運営（アイデアソンとしての運営も可能）



# 最後に

OECは デジタル × 宇宙 で 課題解決 に取り組んでいます

みなさんのありたい姿を一緒に実現させてください



# **Action! Playful!**

テクノロジーと人間力で  
ウェルビーイングな社会を実現する

